

インターンシップ

岩国工業高等学校／都市工学科・参加38名



窪田昌之／(株)村中工務店
現場実習を体験して思ったことは、建築は自分たちが想像したようにはできないのだということが分かりました。
今回実習で末廣さん(指導担当者)に「あきらめてはいけない」とよく言われました。確かに、あきらめてしまつてはそこで全てが止まってしまうということが良く分かりました。それに末廣さんはいろいろな資格を持っていらっしゃるって、そのことについても「やる気があれば資格もすぐ取れるよ」と言われました。仕事や資格についても、やる気が非常に大事なのだと良く分かりました。
仕事は「好きなところから入ってほしい」と言われました。好きなところから入ってしまつてしまうと、辞めたくなくなつてしまつてしまつて、自分も好きなことは長く続けるので、仕事を好きになることは大切なのだなと思ひました。
今回の実習はすごくいろいろなことについて教えてもらつたと思ひます。

そして最後に見た錦帯橋の1/150の模型にはすごく感動しました。あの模型を二人で作るのはすごいと思ひました。

岩本圭祐／(株)藤川興業所

この日、初めて土木系の仕事を体験しました。自分たちが、授業でやったことのある測量をやつたのですが、実際の現場でやると全然できませんでした。現場では、トラックが入れ替わりに入つてきて効率よく仕事が進んでいました。その様子はとても忙しく、もし自分がそこについて



もじゃまになるような気がしました。まだまだ自分は学生気分であり、これから就職するときには社会人の自覚が大切だということも知りました。自分はパソコンを普段使わないので、全く使えないのに、事務所できなり使うことになつてとても困りました。全く操作も分からず焦つてしまつたのですが、とてもわかりやすく教えていただき、わかることができました。
今回のインターンシップでいろいろ教えてもらひ、自分のためになることがいくつもあつたと思ひます。

山口県立田布施農業高等学校／環境土木科・参加28名



中原靖也／キハラ建設(株)
私は今回のインターンシップを通して、様々なことを学びました。
私がお世話になつた現場では、境界位置測量という作業のお手伝いをしました。しかし、授業では教わつたことのない光波測距儀という器械とプリズムの付いたポールを使った初めての測量で、最初は何もできませんでした。しかし、担当者の方にいるいろいろな質問をすると、とても分かり易く親切に教えてくださいました。
測量の他に「KY(危険予知)」という作業もしました。KYは、朝の挨拶時にに行ひ、今日あり得る事故をボードに記し、その事故を未然に防ぐにはどのようにすればよいか、ということをもみんなで復唱します。工事では、いつでも、どのような事故が起きるか分かりません。そのため常に自分の周りに気を遣うことを学びました。
4日間の実習を終え、仕事というのは学校とは全く違い、自分のためではなく人のために動くのだということがよく分かりました。今回の体験を、将来に生かしていきたいと思ひます。

友田浩平／(株)岩国測量設計

私は、7月25日から4日間、岩国測量設計にお世話になりました。実習場所は現場の大島で、土砂崩れ防止工事のための地形測量に参加させて頂きました。

初日は、どんなことをするのか全然分からなかつたので、説明をもらひながら見学をしました。まず光波測距儀とプリズムを使って、道の幅や山の高さなど測ります。次にそのデータを電子平板に送り、最後にデータをもとに電子平板上で図面を作つていくという作業です。

次の日からは、仕事に参加させて頂きました。私はプリズムとスタッフの作業の手伝いをさせてもらひました。山の中や、草藪の中などの危険な場所は手伝わせてはもらえなかつたけれど、暑い中ずっと立ちっぱなしはさすがにきつかったです。

他にも光波の視準の作業もやらせて頂きました。初めは思い通りに視準できなく、時間がかかつてしまい、周りの皆さんに迷惑をかけてしまいました。でもずっと続けている内にだんだん視準に慣れていき、早く操作できるようになりました。

この4日間、大切なことをたくさん教えていただきました。測量は数人が協力して進めていくので、全員がきちんと自分の役割を果たすこと、そして人間関係がとても大切です。測量の技術はもちろんですが、これらのことを教えていただいて本当に勉強になりました。



女性の強みは コミュニケーション能力の高さ

梅澤 知栄さん

CHIE UMEZAWA ●株式会社技工団 土木部 主任 一級土木施工管理技士

同じ業界の女性が集まって、 いろんな話ができるといいですね。

父が測量の仕事をしていたので、よく建設現場には連れていってくれていました。小さい頃から馴染みがあったんでしょね、だから違和感なくこの仕事に就けたんだと思います。高校卒業後は測量の専門学校に行きました。土木科だったのですが、社会的にも女性が建設関係に進出し始めていた頃で、200人くらいの学生のうち女性が5人いましたよ。今はもう少し多いでしょうけどね。

卒業の時に取った測量士補の資格をもってこの業界に入りました。女性が進出し始めたといっても、会社の土木部門では私が最初の女性だったようです。今も女性は私一人です。

現場は年上のおじさんばかりだったので、けっこうみんなに可愛がってもらいましたよ。ただ、女性の細腕では力仕事が大変でしたね。甘えることはできないので必死です。それでも体力的な差はどうしようもありませんけど…。

この仕事の楽しさ、やりがいは、結果が目



見えて残ることです。小さいころ、父がよく「あの仕事は父さんがやったんだぞ」と教えてくれてました。その気持ちが今はよくわかります。完成後に、周りの人から「よくなったね」と声をかけられたら最高ですね。

私は、女性の強みはコミュニケーション能力の高さだと思います。例えば市街地の工事では、騒音とか交通規制とか、周辺住民の方たちに様々な迷惑をかけてしまいます。そんなときは私が了解をもらいに行ったり、説明したりしていました。やっぱり武骨な男性より、にこやかな女性が来てくれたほうが話を聞きやすいでしょ(笑)。

結婚してからは、見積もりなどの事務の仕事がメインになりました。現場に出なくなったこともあるのですが、この業界の中で女性に出会うことがほとんどありません。女性部会など、女性同士で情報交換ができる場ができるといいですね。みんなで集まって、いろんな話をしましょよ。

山口農業高等学校/環境科学科・参加21名

室田理恵/株日進建設

私は、(株)日進建設において現場実習を行いました。

1日目はレベル測量を現場担当の方に大変優しく解りやすく指導していただきました。2日目は引き続き復路を測量しました。

往復の測量が終了した後は、担当の方と測量の結果を計算し誤差を求めました。何カ所か誤差のある区間があり、担当の方に再測をしていただき、私の測量が間違っていたことを確認することができました。私のレベル測量は、レベルの据え付け後に誤差が出やすいことが解りました。

最終日には事務所までパソコンを扱いました。1つの工事現場を完成させるまでにはいろいろな書類が必要で、事務処理の多さには驚きました。

4日間という短い期間でしたが、この現場実習を通して工事現場には多くの仕事があり一つ一つ仕事の積み重ねが大きな工事の完成につながっていることが、しっかり理解できました。

上松新太郎/株宗像建設

4日間の現場実習に携わり、さまざまなことを学びました。印象に残ったこととしては「暑さに負けず作業をこなしておられる方々が、輝いて見えた」ことです。

初日は、不安と緊張でいっぱいでした。最初に行った現場では、実際にマンホールの構造を見学でき「マンホールってこんなに手間がかかるんだ」という第一印象を持ちました。

2日目は道路工事の現場において、1日目に学んだ水準測量をいかして道路の標高を求め、その後、現場で道路の完成状況を見学しました。今まで見た現場と違い、大規模な工事現場の雰囲気は十分伝わってきました。

3日目はトータルステーションで測角などを行いました。この器械は、扱い方が困難でなかなか思い通りにはいきませんでした。山

の斜面ということもあって、整準作業が難しい操作でした。がよい経験ができました。「仕事をするときの難しさや何が大切か」がわかった現場実習でした。

2006年度インターンシップ実施企業44社

- (株)ガンシン
- 中国建設(株)
- 長畑建設工業(株)
- (株)日野組
- (株)藤川興業所
- (株)藤村組
- (株)ホスコ
- (株)ミヤベ
- (株)村中工務店
- (株)村元興業
- (株)森野組
- 鐘野建設(株)
- 西山建設(株)
- (株)石川組
- 周東建設(株)
- (株)高山コンサルタント
- (株)岩国測量設計
- (株)錦測量事務所
- (有)東亜測地
- 藤永建設(株)
- 兼本建設(株)
- 国益建設(株)
- (株)浜田組
- 井森工業(株)
- 木長建設工業(株)
- キハラ建設(株)
- 未延建設(株)
- 中林建設(株)
- イワキ測量設計(株)
- 松村興産(株)
- (株)宗像建設
- 石山建設(株)
- シマダ(株)
- 防長建設工業(株)
- (株)林建設
- (株)日進建設
- 山口建設(株)
- 山陽建設工業(株)
- (株)技工団
- (株)山口建設コンサルタント
- (株)アサヒコンサル山口営業所
- (株)三建調査設計
- 明和技術コンサルタント(株)
- (株)葉山土木コンサルタント